

## ゴミの量からわかる“日本人の今”

「マシンガンズの滝沢秀一さんが感じた清掃員歴の中で遭遇したゴミから見える民度」より

芸人とゴミ清掃員の二足のわらじで環境問題に取り組む滝沢秀一さんに10年以上の清掃員歴の中で遭遇したけしからんゴミなど、“出口”から見える真実を聞きました

——滝沢さんが見てきた中で、人間性を疑うようなけしからんゴミってありましたか。

滝沢 可燃ゴミの中に割れたガラスが混じってて、掴んだ途端に血が吹き出したことがあります。あとは、寡黙なベテラン清掃員のおじさんが大声で「触るな——っ」とダッシュで止めに入ってきたことがあって。そのとき僕が掴もうとした袋の中には、使用済みの注射針がびっしり入っていました。そのゴミがあった場所は普通の住宅街で、残りは全部普通のゴミ。1つだけ爆弾が混じってたんです。ベテラン清掃員の話でもすごく共感したのが、「昔も今も、金持ちほどゴミが少ない」という話。これは本当にそうなんですよ。

——お金持ちほどモノに溢れた生活をしていそうですが、ゴミは多くない

はい。一般的な住宅のほうが、ゴミの量は圧倒的に多いです。ファストファッションや100均の影響もあって、みんなバンバン買ってバンバン捨てるんですよ。緊急事態宣言期間中は100均のプラスチックカゴを死ぬほど回収しました。あとは梅酒の瓶。日本人は梅酒の自作を禁じられたのかと思うほどの量でしたね。

——プラスチックカゴも梅酒の瓶も、買ったはいいけど結局ほとんど使わずホコリをかぶっ  
ていそうなものですね。

滝沢 金持ちのゴミが少ないのは、本当に欲しいモノしか買わないからじゃないかと思いました。高級住宅地からは大量の缶チューハイも出てこないし、爪切り7つとかも出てこない。「安さ」でモノを買わないし、たぶん室内が整理整頓されているから、無駄な買い物もない。で、その傾向はバブルのときも今も変わっていないんです。

——滝沢さんはゴミの多さについて警鐘を鳴らしていますが、「金持ち＝ゴミが少ない」と考えると、今の日本は貧しいことになります。

滝沢 めちゃくちゃ貧乏になっていると思いますし、このゴミの多さを見ている限り、今の状況からずっと脱却できないと思います。だって、安いものしか流れてこないですもんね。世の中の指標が「安さ」である以上、ゴミは減らないですよ。

——ゴミを減らすには何が必要ですか。

滝沢 学校で教えるべきだと思います。あと、ゴミに関してストレス溜まってる人ってけっこう多いんですよ。僕、いろんなところで講演会やってるんですけど、質問ありますかって聞くと、「何回注意してもゴミ出しをちゃんとしてくれない人がいて！」って、質問じゃなくて怒り出す人が絶対いる（笑）。だから、ゴミの話をできる受け皿があったら、それもまたゴミを減らすアクションにつながると思います。